

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 23日

事業所名 NICO

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	2	2	1		児童数、児童の特性、職員のスキルにより適切じゃない日も出てくる、シフトの調整や急な利用などにも対応できる職員配置を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	3		階段や段差がありバリアフリー化はできていない、今後は必要な方が利用の差にはバリアフリー化を行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3			目標プラス目的をしっかりと共有していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2			評価表のコメントに対して改善できるところは改善し保護者様の意向を把握し対応していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1		第三者の評価は行なっていないが姉妹所の事業所と事例検討会などを改善につなげている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3	1		コロナ禍の状態もあり定期的に行えていなかった、次年度はzoomや現地研修も入れて研修を行う
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2			経過のアセスが不足している、初期のアセスメントのツール以外にも経過中のアセスメントを取れるようにする
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3			

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				重要なものは当日話し合いを行うが基本は翌日に前日の振り返りを行なっている
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1			より具体的に客観性のある記録をつけていく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	1	3	1		定期的にガイドラインを読み直し、現場の支援におとしこんでいく

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			全ての児童に対して情報共有ができていない、関係機関の協力を得ながら情報共有をしていく	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	3		まだ受け入れがないため連絡体制は整えていない、今後の受け入れも含め連絡体制を考える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3			保護者様のニーズがあれば相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	2		どのような連携、助言、研修があるか必要性を調べ保護者様の要望も踏まえながら連携を取っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2		コロナ禍もありなかなか、行えていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		3		現在は参加できていないため、次年度は地域にどのような地域の支援先があるのか探し、参加を検討する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	2		日々の助言等は行っているが、プログラムとして組んでいない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1			今後も保護者様への丁寧な説明に心がける
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				支援者からも積極的に声をかけていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		会の開催についてアンケートを取り交流を考えていたがコロナ禍もあり行えていない、感染状況を考えながら行っていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3	2		会報をきちんと出せるよう定期的化し業務スケジュールに落とし込む、また日々の送迎時の引き継ぎで発信していく
	35	個人情報に十分注意している	4	1			SNSには児童情報をあげない

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		4	
コロナ禍もあり、地域住民を呼べる行事を行っていない					

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			職員へは共有済み、保護者様へはお伝えはしているが、回覧までは行っていない、次年度はじめに保護者様に回覧を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		5			コロナ禍もあり全ての訓練はできなかった。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3			職員間の共有までは行えていない、共有も意識していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3			職員間の共有などが足りていない、職員間の共有も行っていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	1		医師の指示書がない児童がいるので、保護者様に医師の指示書が必要か確認をする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	1		今後も細かくヒヤリハットを作成し共有していく